

2017
5月

ありがとうファンド 月次運用レポート

第153号②【基準日 2017年4月28日】



基準価額の推移



ファンドの情報

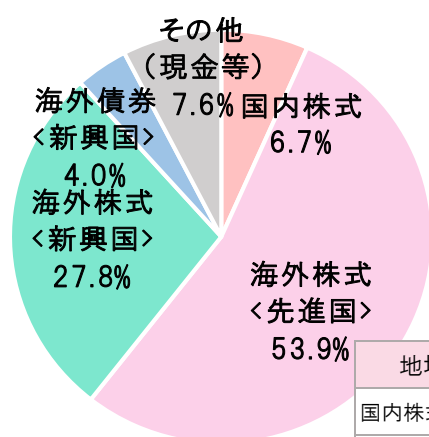
基準価額	16,924円
純資産総額	118億94百万円
口座数	4,739
積立割合	56.1%

ファンドの騰落率

ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利	標準偏差
ありがとうファンド	+2.2%	+4.6%	+13.9%	+10.4%	+31.6%	+96.4%	+69.2%	4.24%	17.7
TOPIX配当込み	+1.3%	+1.6%	+11.2%	+16.7%	+40.1%	+111.1%	+70.6%	4.31%	22.6
MSCI ACWI (世界、円)	+1.6%	+4.8%	+18.9%	+20.6%	+29.5%	+120.3%	+156.1%	7.71%	22.2
MSCI KOKUSAI (日本除く先進国、円)	+1.6%	+4.9%	+20.2%	+20.6%	+30.6%	+133.2%	+167.4%	8.07%	23.5
MSCI EM (新興国株、円)	+2.2%	+7.0%	+15.7%	+24.6%	+16.4%	+53.0%	+215.6%	9.50%	26.2

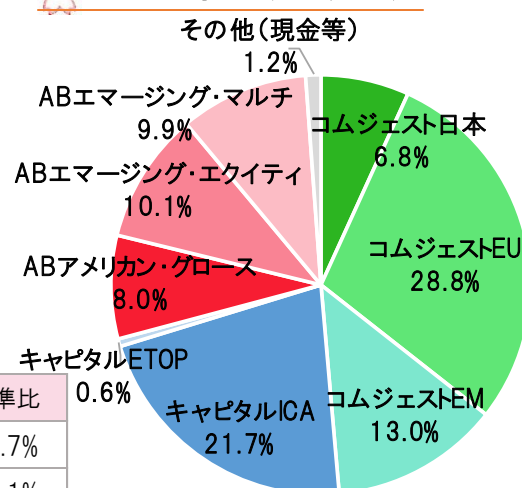
※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

資産配分(3月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	6.7%	6%	+0.7%
海外株式<先進国>	53.9%	58%	-4.1%
海外株式等<新興国>	31.8%	33%	-1.2%
その他(現金等)	7.6%	3%	+4.6%

ポートフォリオ(4月末時点)



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

直近のマーケット動向、ありがとうファンドについて



4月のマーケットはどうでしたか？

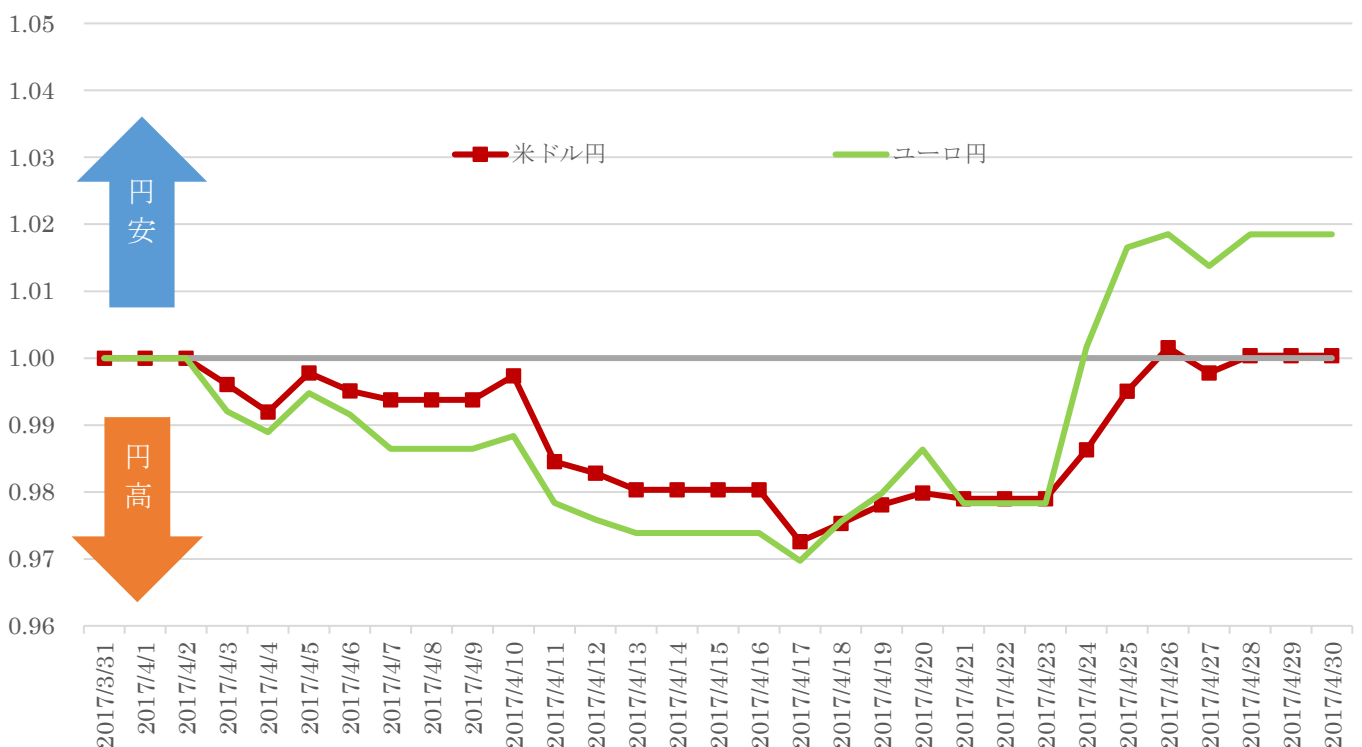
4月のマーケットの動きですが、シリア、北朝鮮に関する地政学リスクとフランス大統領選第一回投票と大きなイベントが続き、値幅の大きな1ヶ月となりました。月序盤では、化学兵器を使用したとみられるシリアの空軍基地に対し、米軍がミサイル空爆を行ったことや、北朝鮮との武力衝突などが意識され、主に日本株と米国株が値を下げました。月中盤では、フランス大統領選を前にリスク回避的ムードが広がり、主に欧州株が軟調な展開になりました。月後半では、フランス大統領選第一回投票が大方の予想通りだったことが好感され、主に欧州株を中心に反発しました。

月間の騰落率としては、TOPIX(配当込み)は1.27%の上昇、米国S&P500(配当込み)はドルベースで1.03%の上昇、欧州MSCIヨーロッパ(配当込み)はユーロベースで1.80%の上昇、新興国MSCIエマージング(配当込み)はドルベースで2.21%の上昇となりました。

為替相場は月末時点で、米ドル/円が111円台前半と、ほぼ現月末と同じ水準になりました。ユーロ/円は121円台前半となり、前月末比では円安にふれました。



【米ドル円、ユーロ円推移】2017年3月31日を1として指数化

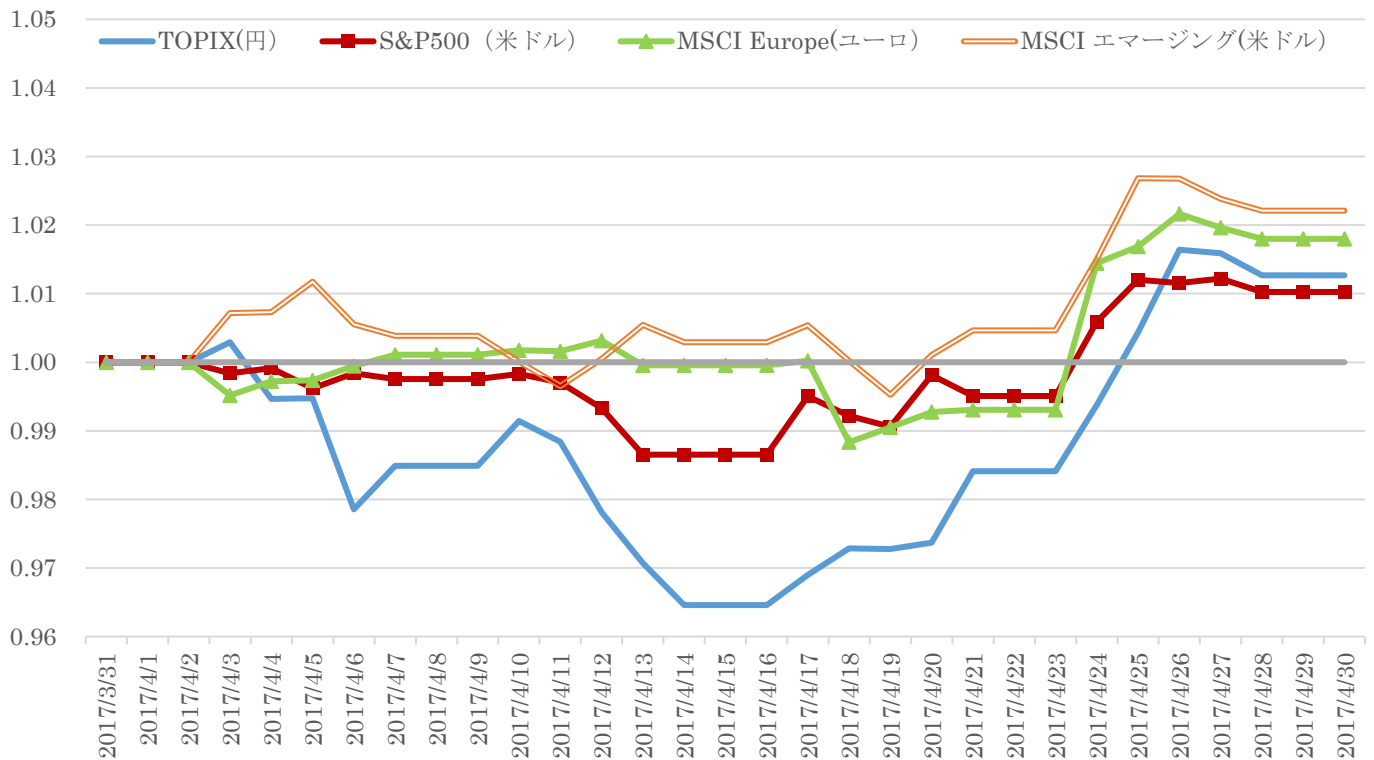


※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

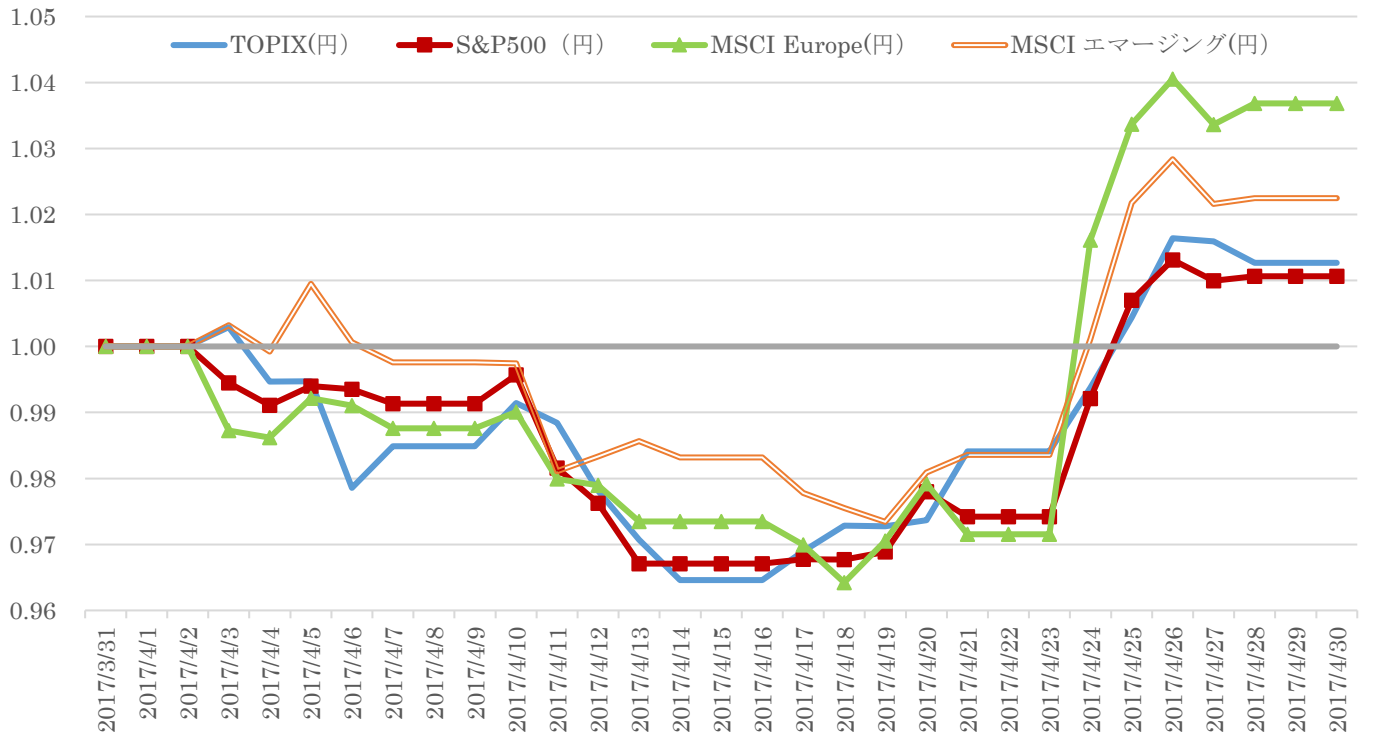
ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2017年3月31日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、円ベース)】2017年3月31日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照して頂くと、日本株は月中盤他市場に比べ低調に推移しています。これは同期間ドル円が大きく円高に振れていたためでした。日本株は依然為替頼りの不安定な市場と言えるでしょう。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

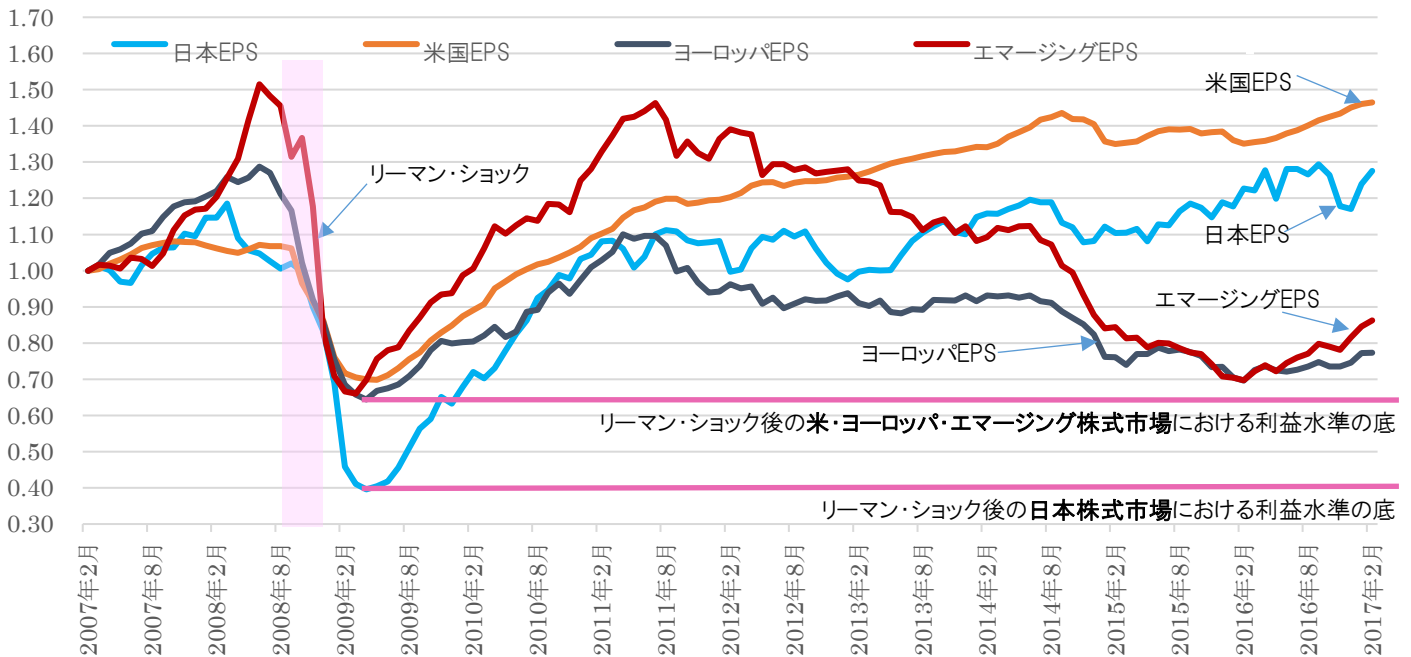
ありがとうファンドの4月月間騰落率は 2.2%の上昇となりました。投資先ファンドでは、コムジェストヨーロッパファンド、AB アメリカン・グロースファンド、が各種参考指数(円ベース)に対しアウトパフォーマンスしました。

4月中の売買状況については、国・地域別配分新基準値を意識して、やや保有割合が少なめになっていた米国株式市場を投資対象とする AB アメリカン・グロースファンドを買い増しました。一方、キャピタル ETOP ファンドを一部売却しました。



今後の見通しはどうなりそうでしょうか？

今後の見通しについては、トランプ大統領の動向に一喜一憂するのではなく、あくまでも長期投資の視点からファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長に沿った成長銘柄が見直される相場になると考えております。下図では、リーマン・ショック前からの4国・地域の EPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元5年ほど低迷していたエマージング市場と、ヨーロッパ市場は活気を取り戻しつつあります。こういった大きな流れはトランプ相場と言われる流行ものではないと考えております。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年2月末を1として指数化

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針はどうなりそうでしょうか？

今後の運用方針についてですが、世界経済はBrexit、トランプ大統領の選出、イタリア国民投票の結果などを見るに、保護主義・ポピュリズムが台頭するなど、大きな変革期にあるように見えます。株式市場という観点から考えると、リーマン・ショック後、各国・地域は金融緩和で各々の経済・株式市場を支えて、各市場同じ方向に動く局面が多く見られましたが、保護主義が色濃くなってきた昨今では、ある意味各市場同士の相関が薄れ、分散効果が見られるようになってきました。このような環境下では、一つの市場だけに投資することは非常にリスクが高いと考えますので、特定の市場に偏ることなく幅広く分散投資することで、長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。その点、ありがとうございますファンドでは引き続き国際分散を推進することにより、世界経済の変革期に対応していきたいと考えております。

また、投資対象のファンドという観点からは、去年後半から金融関連銘柄といった景気敏感株の株価上昇が目立ちましたが、当ファンドではあくまでも長期投資を前提とし、長期で企業利益成長が見込まれる銘柄を発掘するファンドを厳選して投資を続けていきたいと考えております。投資対象国・地域についても、前ページのEPS推移が示しているように、長く低迷していたエマージング市場、ヨーロッパ市場の企業利益改善にも注目しており、今後長期で伸びしろのある市場と考えております。

さらに、手数料の削減を通して運用パフォーマンスを向上させるべく、成績が良くかつ手数料の低い新規投資先ファンドを発掘しましたので、来月の月次レポートなどで皆様へご報告させて頂ければと思います。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

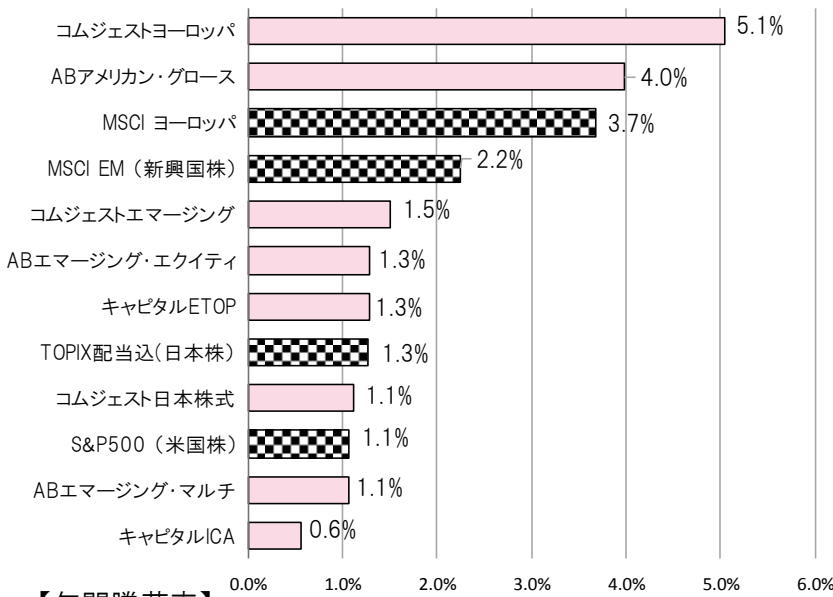


投資先ファンドの状況について教えてください。



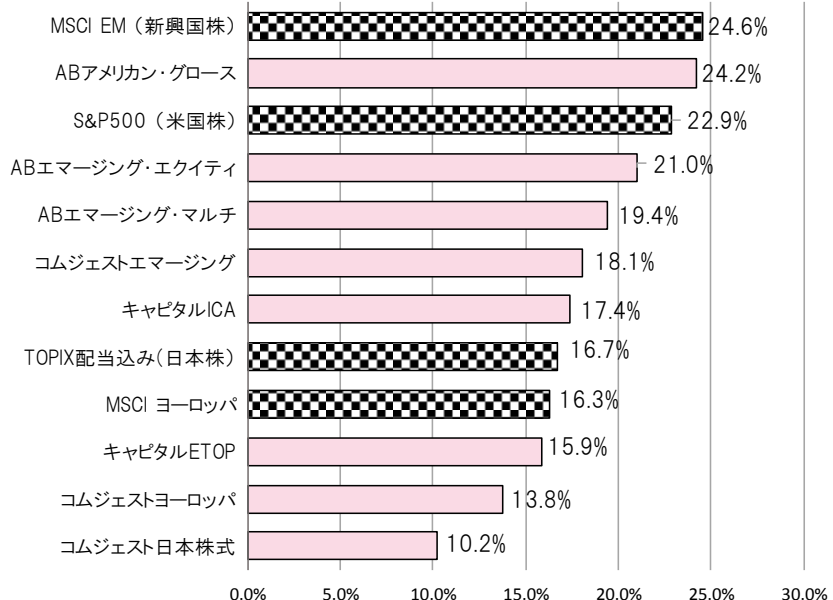
まずは下の投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2017年4月28日時点)

【月間騰落率】



月間騰落率については、コムジエストヨーロッパファンド、ABアメリカン・グロースファンドが参考指数(円ベース)に対しアウトパフォーマンスしました。欧州市場では、昨年からの景気自体は底を打って上昇基調にあります。欧州市場では、昨年からの景気自体は底を打って上昇基調にあります。欧州市場では、昨年からの景気自体は底を打って上昇基調にあります。欧州市場では、昨年からの景気自体は底を打って上昇基調にあります。

【年間騰落率】



年間騰落率については、去年の今は原油安などからの資源銘柄安、またマイナス金利導入直後で銀行をはじめとする金融銘柄などの景気敏感銘柄が大きく下げて、一方足元のトランプラリーでは、そういった景気敏感株が買い戻された相場になったため、景気敏感株をほとんど保有しない当ファンドの年間騰落率は景気敏感も含む指数に対し低調なパフォーマンスになりました。

※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社で作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。(ありがとうファンド運用担当者)



投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジエスト日本株式	日本	6.8%	+1.1%	+2.5%	+7.7%	+10.2%			
	TOPIX 配当込み			+1.3%	+1.6%	+11.2%	+16.7%	+40.1%	+111.1%	+15.8%
2	ABアメリカン・グロース	米国	8.0%	+4.0%	+8.5%	+22.4%	+24.2%	+61.7%	+180.6%	+22.5%
3	キャピタルICA (キャピタルUSGI)注	米国	21.7%	+0.6%	+2.8%	+18.2%	+17.4%	+37.3%	+143.5%	+19.1%
	S&P500 (米国、円)			+1.1%	+4.1%	+20.2%	+22.9%	+47.1%	+165.0%	+21.1%
4	コムジエスト ヨーロッパ	欧州	28.8%	+5.1%	+10.5%	+21.3%	+13.8%	+22.0%	+116.3%	+16.4%
	MSCI EUROPE (ヨーロッパ、円)			+3.7%	+8.2%	+21.8%	+16.3%	+7.1%	+100.2%	+14.6%
5	コムジエスト エマージング	エマージング	13.0%	+1.5%	+6.7%	+14.6%	+18.1%	+24.5%	+76.7%	+11.8%
6	ABエマージング ・エクイティ	エマージング	10.1%	+1.3%	+6.1%	+15.2%	+21.0%	+28.5%		
7	ABエマージング ・マルチ	エマージング	9.9%	+1.1%	+5.6%	+12.7%	+19.4%	+26.2%	+59.5%	+9.6%
8	キャピタルETOP	エマージング	0.6%	+1.3%	+4.4%	+13.0%	+15.9%	+11.4%	+49.1%	+8.2%
	MSCI EM (新興国株、円)			+2.2%	+7.0%	+15.7%	+24.6%	+16.4%	+53.0%	+8.7%

注1: 参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

注2: キャピタル USGI ファンドは 2016 年 6 月 17 日(投資先現地日付)をもって ICA ファンドに統合されましたので、2016 年 6 月 17 日より前の ICA ファンドの基準価額は存在しません。よって上記の運用パフォーマンスは 2016 年 6 月 17 日以降の ICA の基準価額を統合時点の両ファンドの基準価額で換算し、2016 年 6 月 17 日より前のキャピタル USGI ファンドの基準価額と比較できるよう調整をしています。

積立投資のメリット

- ◆ 取得単価を平準化
- ◆ 時間分散でリスクを低減
- ◆ 長期で投資を継続しやすい

各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジェスト日本株式ファンド
マザーファンド株式組入上位5銘柄

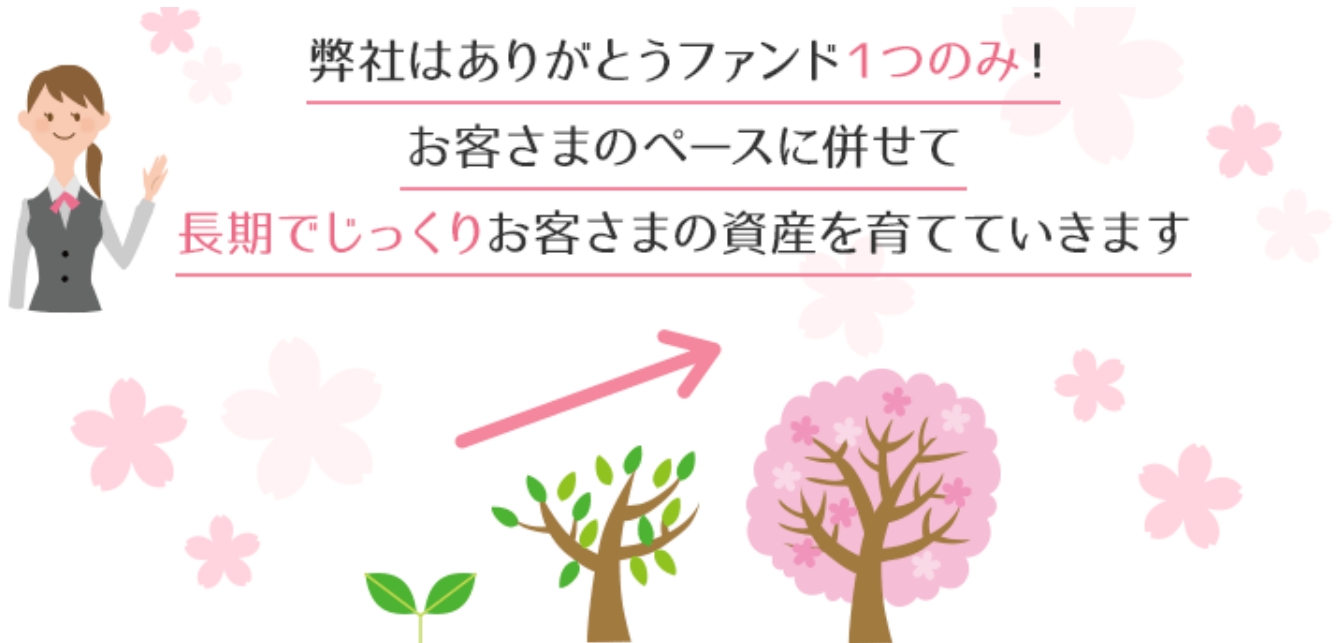
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	4.7%
2 ファナック	日本	資本財・サービス	工作機械などに搭載されるCNC(コンピューター数値制御)装置の世界トップシェアメーカー。	4.4%
3 ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	4.2%
4 ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	4.0%
5 シスメックス	日本	ヘルスケア	血液検査、免疫血清検査、尿検査、生化学検査等に必要となる機器・試薬や、これらに関連するソフトウェアなどの研究開発から製造・販売・サービス&サポートまでを手がける臨床検査の総合メーカー。	3.7%

◎ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA
マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 INDITEX	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッション・アパレルのリテイリングカンパニーの一つ	6.8%
2 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.0%
3 ESSILOR INTERNATIONAL	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.3%
4 DASSAULT SYSTEMES SA	フランス	情報技術	フランスで最大、EUでトップ3に入る規模の大手ソフトウェア会社	4.9%
5 COLOPLAST-B	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業、スキンケア製品に強み	4.8%

◎ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA
マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 TAIWAN SEMI CONDUCTOR-SP ADR	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファンドリーメーカー	4.9%
2 CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	金融	中国北京に本社を置く生命保険会社、中国各地に代理店網を形成	4.6%
3 POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド	公益事業	インド内での送電事業、電気通信事業、送電通信コンサルティング事業を主とする企業	4.0%
4 NETEASE INC ADR	中国	情報技術	オンラインゲームやインターネットサービスを手掛ける。オンラインゲーム事業、広告サービス事業、電子メール・無線付加価値サービス・その他事業の3事業を展開。	4.0%
5 MTN GROUP LTD	南アフリカ	電気通信サービス	通信サービス会社。地域、国内および国際通信サービスのほか、ブロードバンドやインターネットサービス、固定通信と移動通信の融合製品やサービスを提供する。	3.5%



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎キャピタル・グループCA(旧キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム ファンド クラスZ)

株式組入上位5銘柄					3月31日時点
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	4.3%
2	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	アメリカ	生活必需品	世界180カ国以上でマールボロなどの製品を販売する最大のたばこメーカー	2.9%
3	AMGEN	アメリカ	ヘルスケア	DNA組換えや分子生物学的技術を軸とした世界的バイオ医薬品メーカー	2.5%
4	Amazon	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	2.2%
5	ORACLE	アメリカ	情報技術	企業向けにソフトウェアやコンピュータ製品、そしてサービスを提供している。事業はソフトウェアとクラウド、ハードウェアシステム、サービスの3部門で構成。	2.1%

◎キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニティーズ クラスZ

組入上位5銘柄					3月31日時点
	銘柄	国	種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1	BRAZIL GOVERNMENT	ブラジル	債券	格付BB	3.8%
2	RUSSIA GOVERNMENT	ロシア	債券	格付BBB	3.8%
3	UNITED MEXICAN STATES	メキシコ	債券	格付A	3.7%
4	ARGENTINA GOVERNMENT	アルゼンチン	債券	格付B	3.4%
5	INDIA GOVERNMENT	インド	債券	格付BBB	3.2%

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ クラス受益証券

組入上位5銘柄					3月31日時点
	銘柄	国	種類	事業内容	組入比率
1	ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	7.8%
2	FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	7.1%
3	VISA, INC. Class A	アメリカ	金融サービス	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.6%
4	APPLE, INC.	アメリカ	テクノロジー	モバイル通信機器、メディア機器、PC、携帯音楽プレーヤーの設計、製造、販売を手掛ける。	5.0%
5	BIOGEN, INC.	アメリカ	ヘルスケア	多発性硬化症(MS)、その他自己免疫疾患、神経変性疾患、血友病の治療薬の発見、開発、製造、販売に注力する世界的バイオテクノロジー企業。	4.0%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ クラス株式

組入上位5銘柄					3月31日時点
	銘柄	国	種類	事業内容	組入比率
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)、移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.6%
2	ITAUSA INVESTIMENTOS ITAUSA	ブラジル	金融	サンパウロ証券取引所に上場している持ち株会社・コンゴロマリット。関連企業としては、金融業、建設業、化学製品・石油製品を営む企業などがある。	3.9%
3	KB FINANCIAL GROUP INC.	大韓民国	金融	KB国民銀行、KB国民カード、KB投資証券、KB生命、KB資産運用などの子会社を通じて、総合的金融サービスを提供する持株会社。	3.0%
4	OPT BANK PLC	ハンガリー	金融	60年以上の間ハンガリーの銀行部門における重要な役割を担ってきた。1989年からは複合的な商業銀行として業務を行っている。複数の子会社を通じてグローバルな金融サービスを提供している。	2.9%
5	ERSTE GROUP BANK AG	オーストリア	金融	国際的な銀行。預金業務のほか、リテール・企業・投資銀行業務に従事する。オーストリアのウィーンに本社を置き、ヨーロッパで事業展開。	2.7%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ クラス株式

組入上位5銘柄					3月31日時点
	銘柄	国	種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1	BRAZIL GOVERNMENT	ブラジル	債券	格付BB	3.0%
2	JIANGSU EXPRESSWAY CO. LTD. Class H	中国	資本財	有料高速道路の投資、建設、運営、管理を手掛ける。付帯サービス部門では、道路沿いで、ガソリン供給、食品、飲料、自動車修理、宿泊施設、小売りといったサービスを手掛ける。	2.4%
3	KINGBOARD CHEMICAL HOLDINGS LTD.	香港	加工業	化学メーカー。子会社を通じ、ラミネート、銅箔、ガラス布、ガラス糸、さらしクラフト紙、プリント回路基盤、その他化学品を製造する。	2.4%
4	NOVOLIPETSK STEEL PJSC	ロシア	素材	垂直統合型の鉄鋼メーカー。建設、機械製造から、発電設備、海上風車メーカーまで、さまざまな業種で使用される各種平鋼・長尺鋼製品を製造する。	1.8%
5	丸紅	日本	資本財	総合商社としては、比較的バランスのとれた事業ポートフォリオを持つ。強みを持つ分野は、資源・エネルギー分野で銅の上流権益、食料で穀物分野、海外電力事業など。	1.8%

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうピックス

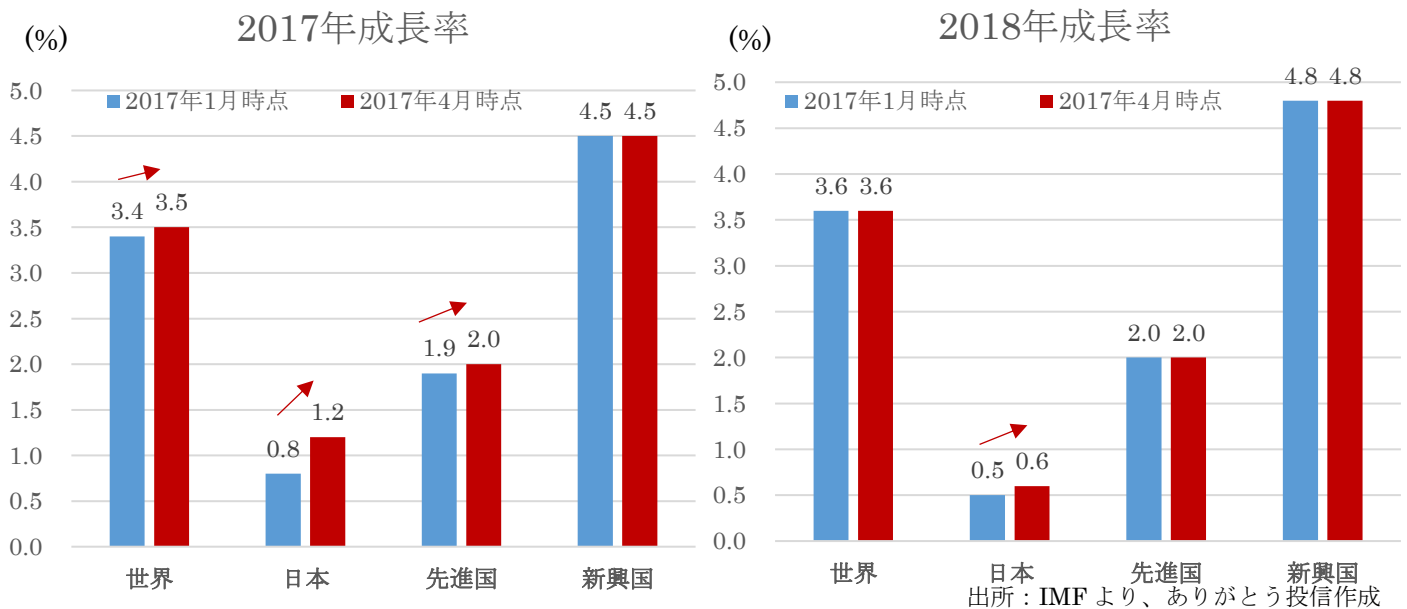
『国・地域別資産配分比率見直しについて』

ありがとう投信株式会社
ファンドマネージャー 真木 喬敏



皆様、いつも大変お世話になっております。先月、国際通貨基金(IMF)は世界経済見通しレポートを公表し、2017年の世界経済成長率の予想を3.5%とし、1月時点の3.4%から0.1%引き上げました。主に米国の大型財政出動や、欧州、日本などの先進国では製造業と貿易の循環的な回復を見込んでの上方修正でした。新興国は前回予想を据え置きましたが、依然予想成長率の絶対値は先進国対比で高く、足元の資源価格の回復・安定などから一部の資源輸出国では上方修正されました。

●IMF 世界経済見通し



当ファンドでは、昨年9月月次レポート『[より国際分散へ、国・地域別資産配分比率決定ロジックについて](#)』で基準配分比率を適時変更するとお知らせしましたが、今回のタイミングをもって、基準値を国内株式:6%、海外株式(先進国):58%、海外株式等(新興国):33%、その他(現金等):3%へ変更致します。

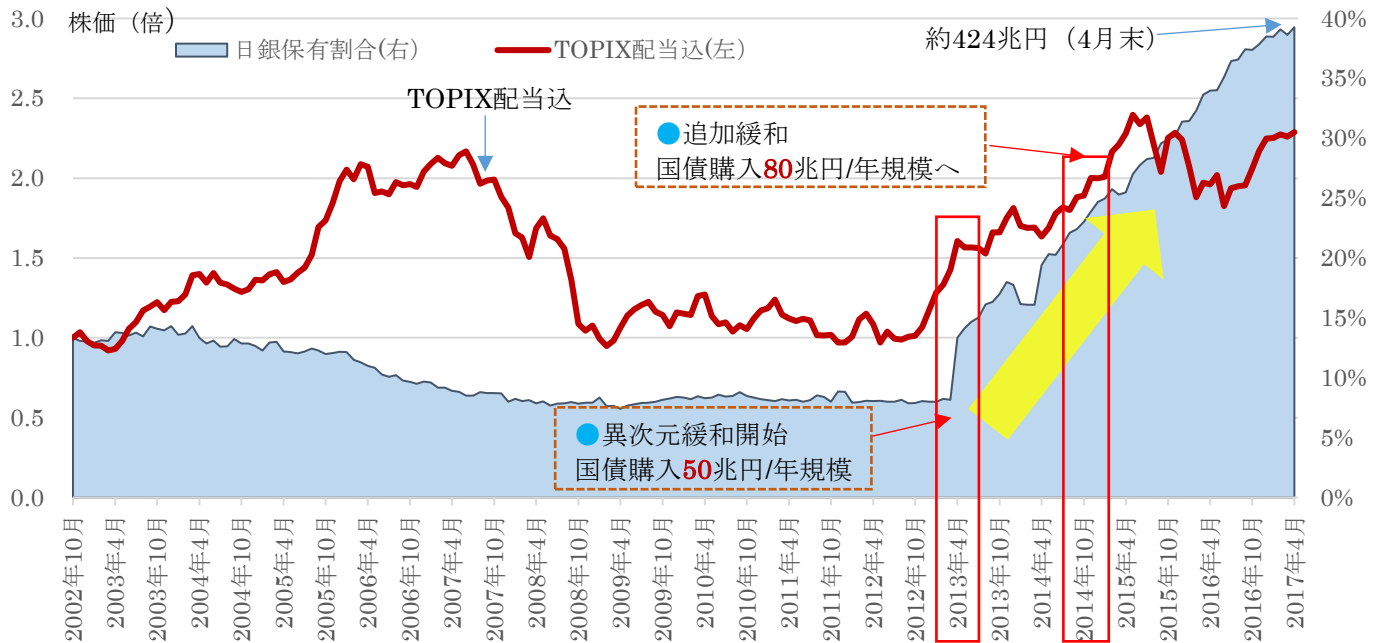
地域・資産	旧基準値	新基準値	増減
国内株式	7.0%	6.0%	-1.0%
海外株式<先進国>	60.0%	58.0%	-2.0%
海外株式等<新興国>	28.0%	33.0%	+5.0%
その他(現金等)	5.0%	3.0%	-2.0%

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

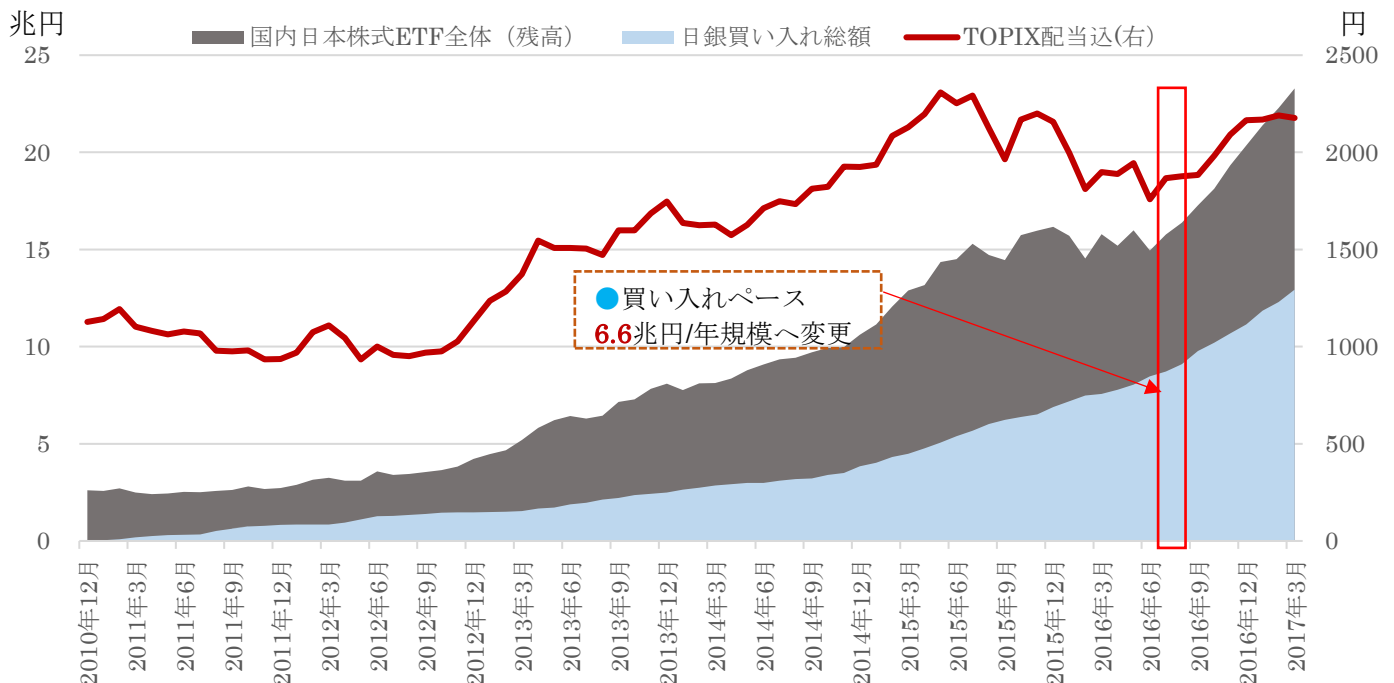
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

国内株式は前回7%から6%へ1%基準値を引き下げました。日本株は他市場に比べて割安の水準ではありますが、引き続き国内個人消費需要の長期低迷、海外からの需要についても依然為替頼りと長期で経済成長が見込めないうえ、やめられない金融緩和政策がエスカレートしていることを中長期的なマイナス要因として考慮し、引き下げを決定しました。

●日銀の爆買い: 日銀の国債保有比率は40%近くへ…もう株価はついてこない



●日銀の爆買い: 日銀は上場投資信託(ETF)を通して日本株も買っている…いつまで買い続けられるの？



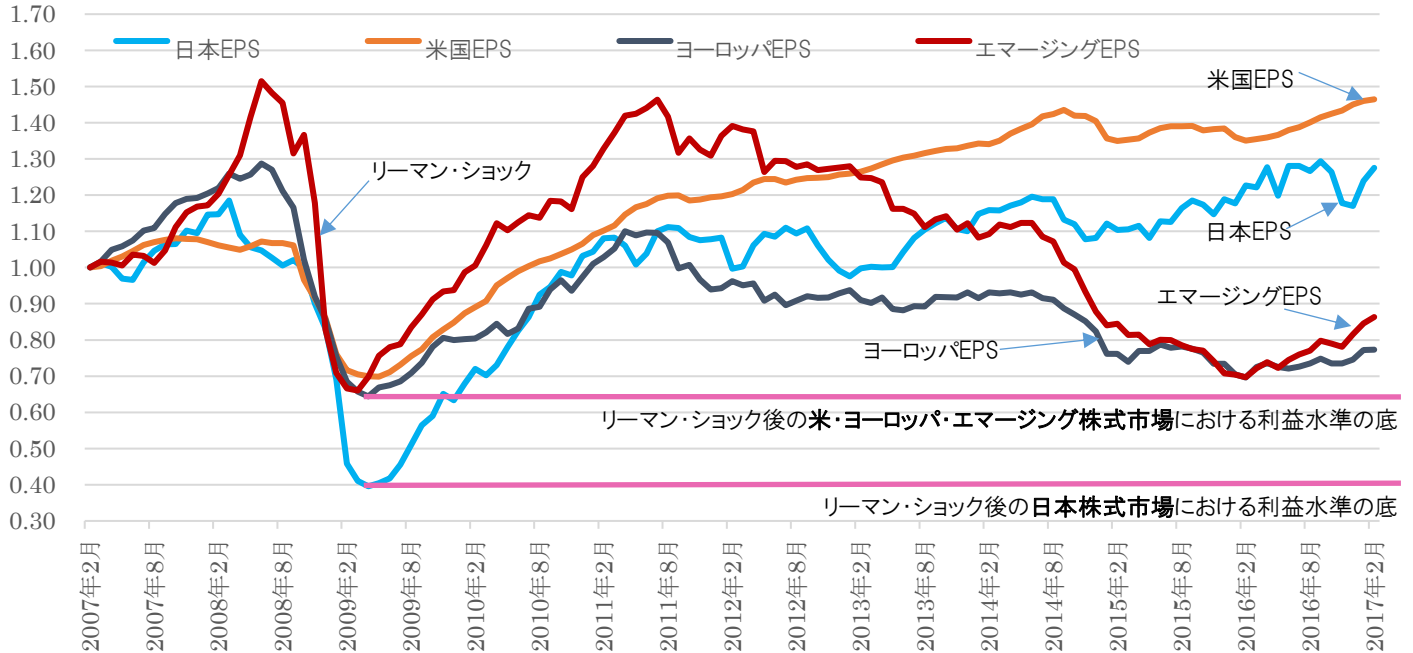
出所：ファクトセットより、ありがとう投信作成

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

海外株式(先進国)は、前回60%から58%へ2%基準値を引き下げました。主に株式市場の過熱感が高まる米国株式の配分を引き下げました。一株当たり利益(EPS)の相対的な伸びしろを考慮した場合、米国よりも欧州の方が大きいと、やや欧州の配分を増やしました。58%の内訳は米国28%、欧州30%程度を想定しています。

●企業利益の推移は新興国と欧州が出遅れていたが、底を打ち感があり、今後の伸びしろは大きい



海外株式等(新興国)は、前回28%から33%へ5%基準値を引き上げました。足元では原油をはじめとした資源価格が安定的に推移していることなどが新興国の安定的な経済回復・成長に貢献しており、長期的には労働人口増、中間所得者層の増加、個人消費の増加といったメガトレンドから経済規模の拡大が期待でき、これらの点について前回変更時より確度が増した結果、基準値の引き上げを決定致しました。しかしながら値動きの大きな市場でもありますので、一部債券を組み入れることにより安定的な長期投資を目指します。

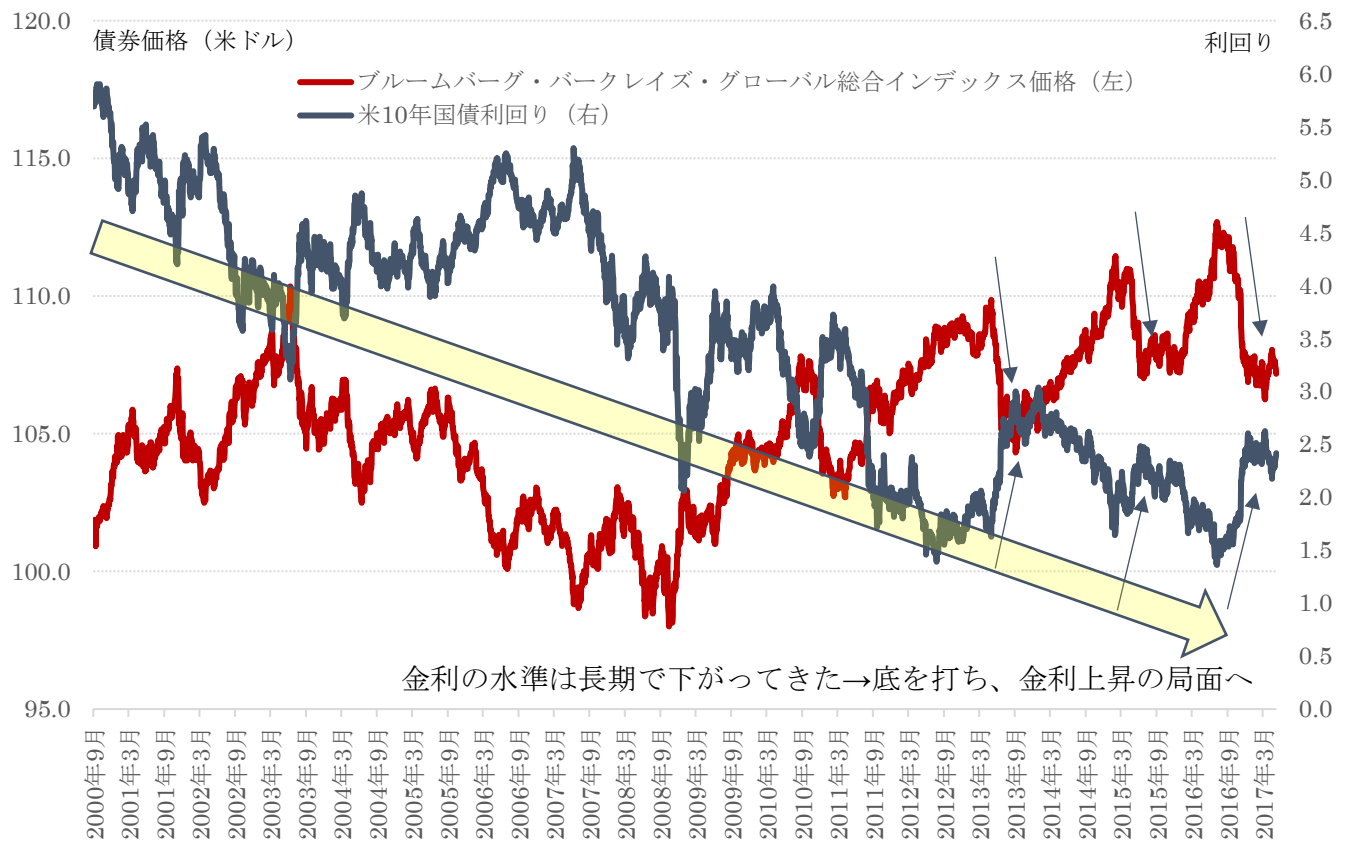
その他現金等については、前回5%から3%へ2%基準値を引き下げました。米国をはじめとした金融緩和からの出口戦略が進む中、金利は上昇傾向(債券の価格は逆相関で下落)にあり、株式市場への資金流入が続くと考えていますので、現金を持つより株式に投資した方が良いと判断しました。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

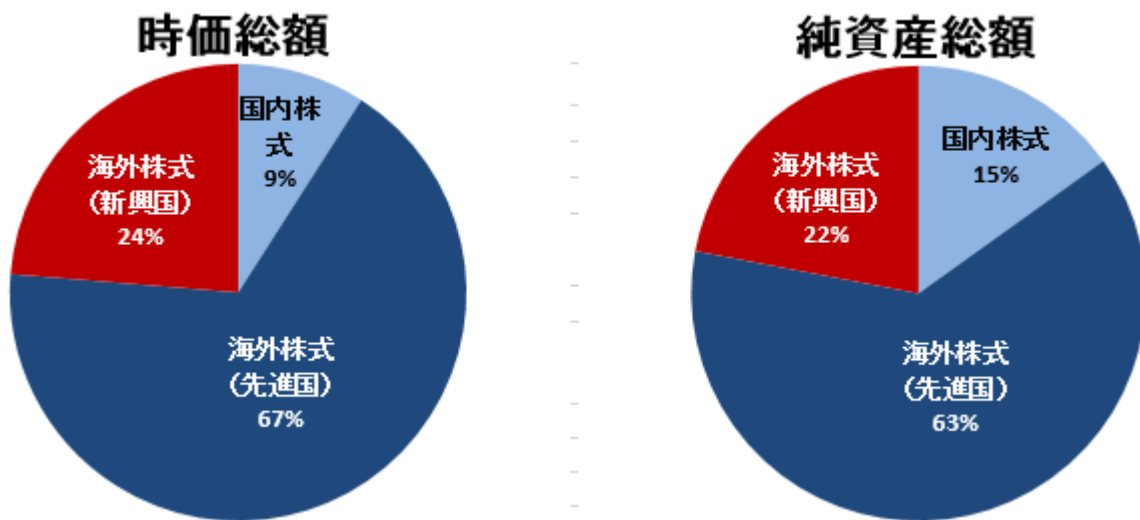
●米国利上げ、金融緩和の出口戦略などは金利に上昇圧力→債券価格下落→株式市場へ資金流入



また、詳しい各国・地域の見通しについては、5月後半から始まる半期運用報告会にて説明させて頂く予定でございますので、是非参加ご検討頂けると幸いです。

参考までにですが、新基準値を決定する際にベースとした、時価総額、純資産総額などのデータを以下に記載させて頂きます。

●時価総額、純資産総額の世界比較 (過去12か月平均値)



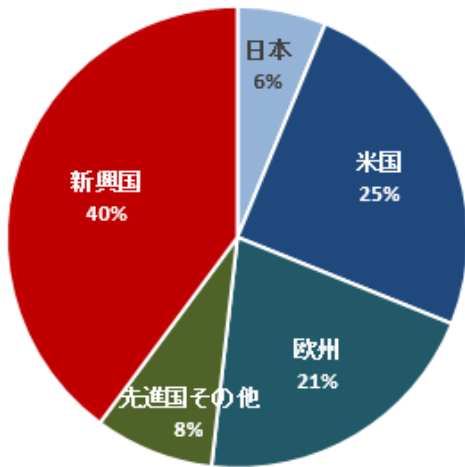
出所：ファクトセットより、ありがとう投信作成

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

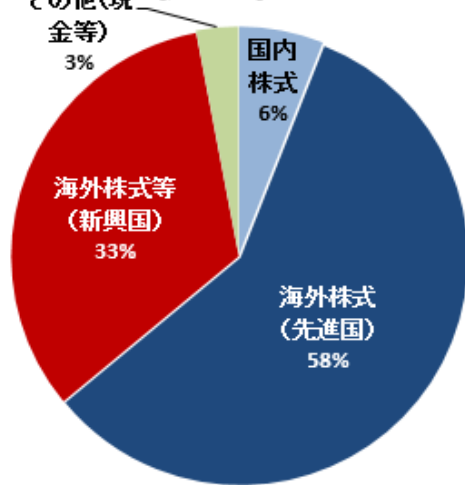
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

●名目 GDP の世界比較 (IMF 世界経済見通し2017年4月より作成)

名目GDP(2017年)



新基準値



出所：IMF より、ありがとう投信作成

地域・資産	時価総額 (過去12か月平均)	新基準値	時価総額 からの乖離
国内株式	9.1%	6.0%	-3.1%
海外株式<先進国>	67.2%	58.0%	-9.2%
海外株式等<新興国>	23.7%	33.0%	+9.3%
その他(現金等)	0.0%	3.0%	+3.0%

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972%(税抜 0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.7%±0.25%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒110-0005 東京都台東区上野 3-19-4 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。